

令和 7 年度 上田電鉄(株)生活交通改善事業変更計画  
(鉄道軌道安全輸送設備等整備事業)

別所線活性化協議会  
令和 8 年 2 月 2 7 日

(国 令和 7 年度補正予算に係る書面協議)

## 1. 事業の目的・必要性

上田電鉄別所線は生活に密着した公共交通機関であるほか、観光を軸とした産業面や地域規模での対応が必要な環境面、更には文化的・教育的側面においても重要な交通機関である。

一方、開業(1921年)から105年を迎える鉄道施設は、特に、橋りょう等の土木構造物、木マクラギの老朽化が進んでいる。また、信号設備や踏切保安設備は安全輸送に直結する根幹的な設備であり、高い安全性が求められている。そのため、これら老朽化した設備の改修、更新を行い安全安心な輸送の確保を図る。

本計画は令和8年度計画事業の内、下記事業(赤字)の国庫補助について令和7年度補正予算で措置されることとなったため、変更をおこなうものである。なお、工事そのものは次年度へ繰り越し、令和8年度の実施とする。

黒字：R7 当初計画

赤字：R7 変更計画(補正分)

### ① 千曲川橋りょう橋脚補強

千曲川橋りょうのP1からP4橋脚の基礎補強工事を計画。災害復旧でP4橋脚を補強、令和5年度事業でP3の補強が完了し、令和7年度はP2橋脚の補強工事を実施する。

### ② コンクリートマクラギ化(一部、合成マクラギ化)

経年により腐食した木マクラギをコンクリートマクラギに更新する。車輪横圧による軌間拡大を防止する。なお、レールの継ぎ目や橋りょうのマクラギについては、コンクリートマクラギと比較して同等の耐久性でありながら軽量の合成マクラギへ更新する。(合成=ガラス繊維と硬質発泡ウレタン) 全線で385本

### ③ コンクリートマクラギ同種更新

経年劣化や凍害により破損したコンクリートマクラギを新品のコンクリートマクラギに交換(同種更新)する。

全線で30本

### ④ 橋りょう塗装

前回塗装から20年が経過し塗膜剥がれや錆が発生している。劣化した表面塗膜と錆びを剥ぎ落とし再塗装する。紫外線や風雨による鋼材の劣化を未然防止し、橋りょうの健全性を維持、長寿命化を図る。

中野～舞田駅間 追開沢(おかいざわ)橋りょう

### ⑤ 橋りょう断面修復

橋台と橋脚の表面コンクリートが経年により劣化。表面コンクリートを除去しこれを修復することで、構造物としての性能を回復する。

下之郷～中塩田駅間 産川(さんがわ)橋りょうのA1橋台およびP1橋脚

## ⑥ 踏切保安装置更新

踏切保安設備を高規格化踏切保安設備（LED、全方向形警報灯など）に更新し、保守の軽減、保安度の向上を図る。八木沢～別所温泉駅間 比欄樹（びらんじゅ）踏切

## ⑦ 列車位置検知器（AF0 軌道回路装置）の更新

踏切を警報開始させる設備である AF0 軌道回路装置について、経年劣化および旧型のため最新機器との併用ができないため更新する。踏切道の安全性維持とデジタル化による保守の軽減を図る。全線で9台

## 2. 事業の定量的な目標及び効果

経常赤字を生じている中、地域公共交通確保維持改善事業費補助制度を活用し、老朽化した鉄道施設の改修・更新を行い輸送の安全・安定性の維持向上を図る。

令和7年度輸送人員目標 1,085 千人

## 3. 事業計画および概要

### (1) 事業の内容

別添のとおり

### (2) 当該事業を実施する事業者

上田電鉄株式会社

## 4. 事業に要する費用の総額、負担者及びその負担額

令和7年度事業費（当初）：290,000 千円

負担額 国（当初）：96,666 千円（負担割合 1/3）

長野県（当初）：48,333 千円（負担割合 1/6）

上田市（当初）：145,000 千円（負担割合 1/6+1/3）

上田電鉄：1 千円

令和7年度事業費（補正分）：102,067 千円

負担額 国（補正分）：34,022 千円（負担割合 1/3）

長野県（補正分）：17,009 千円（負担割合 1/6）

上田市：51,033 千円（負担割合 1/6+1/3）

上田電鉄：3 千円

（上田市についてはR8当初予算予定）

## 5. 協議会の開催状況と主な議論

### 別所線活性化協議会

- ・令和4年5月27日（第1回） 令和4年度事業計画についての協議
- ・令和5年2月20日（第2回） 令和4年度補正計画についての協議（書面）
- ・令和5年4月28日（第3回） 令和5年度事業計画についての協議
- ・令和6年2月26日（第4回） 令和5年度補正計画についての協議（書面）
- ・令和6年5月8日（第5回） 令和6年度事業計画についての協議
- ・令和7年2月26日（第6回） 令和6年度補正計画についての協議（書面）
- ・令和7年4月24日（第7回） 令和7年度事業計画についての協議

(協議会の構成)

国	北陸信越運輸局
関係都道府県・市区町村	長野県・上田市
関係交通事業者	東日本旅客鉄道(株)・しなの鉄道(株)・千曲バス(株) 上田バス(株)・長野県タクシー協会・上田電鉄(株)
そのほか	上田警察署・塩田地区自治連会・別所温泉観光協会・ 別所温泉旅館組合・別所線の将来を考える会・ 上田商工会議所・信州上田観光協会・上田市社会福祉協議会・ 上小高等学校校長会・長野大学・上田短期大学

鉄道軌道安全輸送設備等整備事業計画

事業実施事業者名: 上田電鉄株式会社

(単位: 千円)

区分	整備の概要	令和6年度(当初実績)		令和6年度(補正計画)		令和7年度(当初計画)		令和7年度(補正計画)		令和8年度(計画)	
		事業費	整備対象箇所	事業費	整備対象箇所	事業費	整備対象箇所	事業費	整備対象箇所	事業費	整備対象箇所
マクラギ	木マクラギをコンクリートマクラギ又は合成マクラギへ交換	39,079	木まくらぎをPCまくらぎに更新(継ぎ目など一部合成まくらぎ)全線で731本	64,160	全線スポット不良および直線区間1059本、湯川橋梁合成マクラギ31本、計1090本	-		47,907	全線スポット、側線、小規模橋りょう、踏切道 合計385本	-	
マクラギ	老朽化したマクラギの同種更新	1,725	PCまくらぎ更新全線で30本	2,030	コンクリートマクラギ同種更新全線スポット 30本	-		2,270	全線スポット 30本	-	
マクラギ	分岐用の木マクラギを合成マクラギへ更新	-		18,000	上田原駅構内 2基分80本	-		-		-	
軌道道床	慣泥箇所の路盤硬質構造化及び道床バラスト交換	18,712	道床路盤をセメントと碎石で硬質化しバラストを交換 寺下～神畑駅間8m 八木沢～別所温泉駅間16.6m	13,630	八木沢～別所温泉 23m 八木沢踏切KGパネル化	-		-		-	
橋梁(千曲川橋梁)	橋梁塗装、橋梁改修	-		-		290,000	橋脚補強(P2)	-		295,000	橋脚補強(P1)
橋梁(千曲川以外)	橋梁塗装、橋梁改修	11,060	橋りょう沓座部補修 神畑～大学前駅間1カ所 塩田町～中野駅間1カ所	6,340	八木沢～別所温泉 湯川橋梁塗装	-		20,450	中野～舞田 追開沢橋りょう 塗装6,540千円 下之郷～中塩田 産川橋りょう 断面修復13,910千円	-	
踏切保安設備	踏切保安設備更新	36,468	踏切保安設備一式更新 八木沢～別所温泉駅間2カ所	23,240	赤坂上～上田原 1カ所	-		23,240	八木沢～別所温泉 1カ所	-	
信号保安設備	インピーダンスボンド更新	8,239	全線で10台更新、内、低濃度PCB処分1台	-		-		-		-	
電路設備	柱上変圧器更新、PCB処分 電車線張力自動調整器更新	11,356	低濃度PCB含有の柱上変圧器交換およびPCB処分 全線で15台	2,271	張力自動調整器更新 全線スポット4台	-		-		-	
踏切保安設備	AFO軌道回路装置更新	-		8,425	AFO軌道回路装置更新 全線スポット	-		8,200	AFO軌道回路装置更新 全線スポット9台	-	
合計		126,641		138,096	令和7年度に繰越し実施する	290,000		102,067	令和8年度に繰越し実施する	295,000	

各工事は千円未満単位切り捨てのため 合計額と合致しない

コンクリートマクラギ化(継ぎ目、橋りょうは合成マクラギ化)



道床碎石箇所



小規模橋りょう箇所

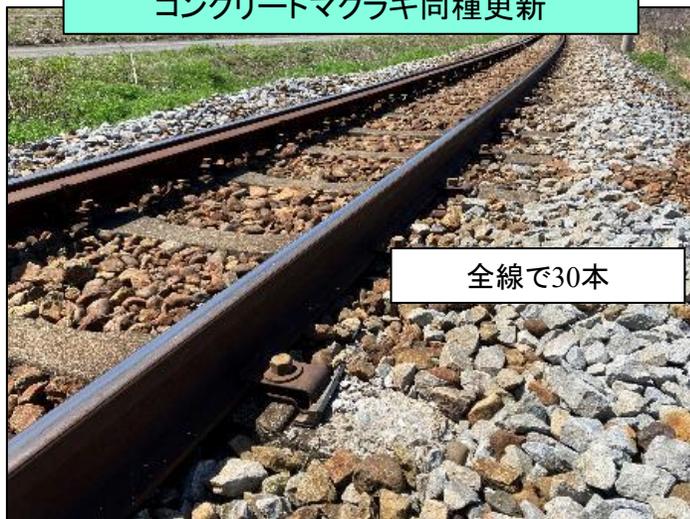


踏切部

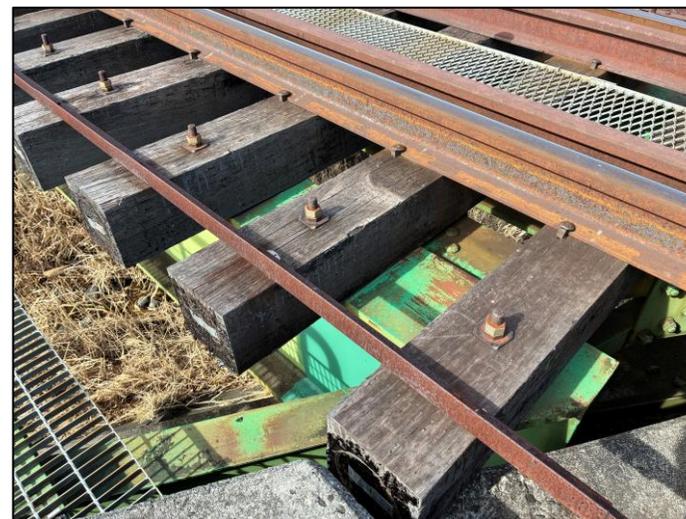


橋りょう合成マクラギ化は5カ所を計画

コンクリートマクラギ同種更新



橋りょう塗装



令和7年度補正 整備設備概要写真

橋りょう断面修復



P1橋脚

A1橋台

下之郷～中塩田間 産川橋りょう



P1橋脚



A1橋台

令和7年度補正 整備設備概要写真

踏切保安装置更新



八木沢～別所温泉間 比欄樹踏切

AFO軌道回路装置更新



全線で9台

鉄道事業者の収支改善計画

事業実施事業者名：上田電鉄株式会社

(単位：百万円)

	R1	R2		R3		R4		R5		R6		R7		R8		R9		R10		R11	
	'19	2020		2021		2022		2023		2024		2025		2026		2027		2028		2029	
	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
旅客運輸収入	228	178	125	217	177	217	210	217	220	222	229	226		231		235		240		245	
運輸雑収入	22	23	22	23	24	23	21	23	19	23	17	23		23		23		23		23	
収入計	250	201	147	240	201	240	231	240	239	245	246	249	0	254	0	258	0	263	0	268	0
運行費用	365	328	288	302	285	302	314	302	291	302	308	302		302		302		302		302	
鉄道事業収支	-115	-127	-141	-62	-84	-62	-83	-62	-52	-57	-62	-53	0	-48	0	-44	0	-39	0	-34	0
その他関連事業収支	17	18	11	19	11	19	17	19	19	19	16	19		19		19		19		19	
全事業収支	-98	-109	-130	-43	-73	-43	-66	-43	-33	-38	-46	-34	0	-29	0	-25	0	-20	0	-15	0

①増収策内訳	0	0	0	5	0	6	2	6	4	6	5	6	0	8	0	8	0	8	0	8	0
ダイヤ改正	0	0	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1		1		1		1		1	
善光寺御開帳・北向き観音御開帳を フックとした誘客効果の継続	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	1		1		1		1		1	
インバウンド観光推進	0	0	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1		2		2		2		2	
ハーモニカ電車の利用促進	0	0	0	1	0	1	0	1	1	1	2	1		1		1		1		1	
貸し切り電車の利用促進	0	0	0	1	0	1	1	1	1	1	1	1		1		1		1		1	
観光キャンペーン等の実施	0	0	0	1	0	1	1	1	2	1	2	1		2		2		2		2	
②経緯削減策内訳	-41	0	36	22	39	23	11	23	34	23	17	23	0	23	0	23	0	23	0	23	0
LED化による光熱費の削減	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1		1		1		1		1	
ダイヤ改正による動力費の削減	4	0	9	6	7	6	-6	6	0	6	-3	6		6		6		6		6	
その他諸費用の削減	-45	0	27	16	32	16	16	16	33	16	19	16		16		16		16		16	
改善効果 (①+②)	-41	0	36	27	39	29	13	29	38	29	22	29	0	31	0	31	0	31	0	31	0